

令和 8 年 5 月 26 日 (火)  
第二別館 3 階会議室

先ほどの「えひめ教育の日」の推進会議総会に続きまして、長時間となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

皆様方には、日ごろから、子ども達の健全な育成のために各種教育施策の推進に御協力をいただいておりますことを、この場をお借りして心より感謝を申し上げます。

御案内のとおりですが、昨年来、国等において議論がなされてきた、経済的事情による教育格差の是正、また、子育て世帯への支援強化を目的とする高校授業料の無償化や給食の無償化など、いわゆる教育の無償化の実施等を始めといたしまして、教育に対する社会の関心というものが、一層高まりを見せている中ではございますが、生徒数の減少等を踏まえた学校再編、更には教職員の働き方改革の推進など、時代のニーズに対応したさまざまな改革が求められており、教育を取り巻く環境というものは一層厳しさを増している状況にございます。

このような中、先ほどのあいさつでも申し上げさせていただきましたとおり、今年度、県立高校におきましては、小松、東予総合、しまなみ、八幡浜、北条清新高校と松山城北特別支援学校の合計 6 つの新校と、理数情報や国際、スポーツといった 24 の新学科等がスタートいたしました。

県教育委員会では、これらの新設校を含めましてすべての県立高校について、改めて、小中学生や保護者に対し周知徹底を図るため、直接各校の特色や魅力をアピールするための場として、県内各地で対話型の合同説明会「えひめ県立学校進学フェア」を開催し、多くの生徒に選ばれる学校づくりを推進いたしますほか、生徒・保護者の利便性の向上や、教職員の負担軽減を図るため導入した、「県立学校入試出願システム」の改善など、小中学生に視点を置いたさまざまな改革にも取り組んでい

るところでございます。

今後は、この後の所管事業の説明や意見交換においても議論されることと思いますが、高校再編に係る後期計画の策定、教職員の働き方改革、部活動の地域展開など、教育委員会においてもさまざまな取組を進めているところでございます。これら取組につきましては、その実効性を高めていくためにも、県内の各市町教育委員会との密接な連携が不可欠でございますので、今後ともこれまで以上の御理解・御協力をお願い申し上げます。

また、昨年度、国から要請のあった被災地における学びの早期再開支援を目的とする、「災害時学校支援チーム」の設置につきましては、各市町から教員不足等、さまざまな事情による一部御指摘もいただいたところではございますが、全国的な大規模災害の頻発化・激甚化を踏まえ、相互扶助の観点から御理解・御協力をいただければと思います。

この後、限られた時間ではございますが、本日は、各教育委員会が直面する課題等について意見交換を行う貴重な場でございますので、どうか、忌憚のない御意見・御提案を賜りますようお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。